

トルコ

ヨーロッパとアジアの文化が融合したエキゾチックな国。

トルコの基本情報

- 時差/日本時間から7時間。3月最終日曜～10月最終日曜まではサマータイムのため日本時間から6時間。
- 通貨/トルコリラ(TRY) 1TRY=約52円(2013年2月現在)
- 気候/国土が広いので、地方によって気候が異なります。カッパドキア周辺は乾燥が激しく、地中海やエゲル海などはビーチリゾートとして人気。イスタンブール周辺は比較的温暖で、日本のような四季も、ベストシーズンは4月～6月。
- 言語/トルコ語
こちらにはメルババ
ありがヒラシケキル エリム



美しいモスクや宮殿など
イスラム教の威光を伝える建物が残るほか、
数多くの世界遺産を有するトルコで、
脈々と続く悠久の歴史を
満喫する旅を楽しみましょう。

ブルーモスク



400年以上の歴史を持つ優美なシルエットは必見。
正式名は「スルタンアフメト・ジャミイ」とい、世界唯一の6本の尖塔、直徑27.5mの巨大ドームで知られる通称「ブルーモスク」。内部の装飾に使われた青いイズミック・タイルやステンドグラスの美しさから「ブルーモスク」と呼ばれるようになったそう。16世紀にアフメト1世が建築したオスマン様式のモスク。一日5回の礼拝も行われています。入場無料。
◎8:30～12:30、13:45～16:40、17:40～19:00
(礼拝時は見学不可) 無休

ヨーロッパとアジアの文化が混在する魅惑の町。 イスタンブール歴史地区

トプカプ宮殿



オスマン帝国の中心だった豪奢な宮殿。
ボスフォラス海峡やイスタンブールの町を見下ろす小高い丘に立つトプカプ宮殿は、15世紀から19世紀にかけて、オスマン帝国の君主が暮らした宮殿です。さまざまな建物が迷路のようにつながり、大広間や浴室、ボスフォラス海峡の眺望が楽しめるテラス、庭園などがあります。贅を尽くした宝飾品が展示された宝物庫や、女性たちが暮らしたハレムも。20TL。
◎9:00～19:00(入場は18:00まで) 火曜休



アヤソフィア博物館



トルコの歴史を伝える、
ビザンチン建築の最高傑作。

西暦380年にキリシヤ正教の総本山として建てられた「アヤソフィア聖堂」は、後にイスラム寺院に改修されるという波瀾の歴史を持ちます。1934年、煉瓦で塗りつぶされたモザイク画が修復され、博物館として公開。大ドームの天井部分には、マリア像や大天使ガブリエルなどのモザイク画も。イスラムの装飾とキリストのモザイク画が混在する建築物です。20TL。
◎9:00～19:00(入場は18:30まで) 月曜休



グラントバザール

迷宮のような屋根つきの市場で
お買い物3昧。



トルコ語でカバル・チャルシュとい、屋根つきの市場という意味をもつグラントバザールは、1461年から続く歴史の建物に入り組んだ狭い路地に4000軒以上の店が建ち並びます。品物によってある程度エリアが分かれるので、欲しいものが決まっていれば買物がしやすいバザール。東西のあらゆるものが揃いますが、値段交渉も忘れなく。
◎日曜休

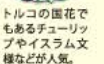


ネリム

同じ模様のも
ないといわれる手
織りの織物、サイズ
や種類もさまざま。



ナザール・ボンジュウ
トルコの伝統的な
護身符は、刺れると
その効果があったと
いわれています。



トルコの国花でも
あるチューリップ
やイスラム文
様などが人気。

本物の、「トルコ イスタンブールの街」を見学!

ここで紹介するツアーでは、リトルワールドに新しく誕生する「トルコ イスタンブールの街」のモデルとなった家があるエリアを実際に訪れます。



※「トルコ イスタンブールの街」については、P17をご覧ください。



奇岩

この世の景色とは思えない
珍しい奇岩が並ぶエリア。
7000万年前の火山爆発で堆積した溶岩や火山灰が長い年月の間に浸食されてできた景観は、まさに狂惑。きのこやウツダ、ナボレオンの帽子など、さまざまな名前がつけられた奇岩に出会うことができます。あまりの珍しさに、思わずカメラを構えたくなる景色。



カッパドキア

トルコが世界に誇る奇岩に感動。

ギョレメ 野外博物館

ギョレメとはトルコの言葉で「見てはいけないもの!」

初期のキリスト教徒たちが迫害から逃れるために隠れて過ごした場所を、野外博物館として公開。岩の中をくりぬいた空間には、修道院や教会、礼拝堂などが残されています。15TL。
◎8:00～17:00 無休



一度は泊まってみたい
洞窟ホテル。
カッパドキア・ギョレメ地区の中心部に位置し、町の雄大な景色や、奇岩の絶景が望める洞窟ホテル。昔ながらの建物を改装した客室は、洞窟部屋の伝統的な雰囲気を残しつつも、温かみのある内装で整えられ、機能的で快適な旅です。

アナトリアン・ ケープホテル

サフランボル

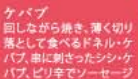


世界遺産に登録された
小さな町。
サフランの花が暮らしていたことからつけられる。人口約3万人の小さな都市。100年～200年前に建てられた、土壁に木枠の窓が並ぶ独特の木造家屋が多く残り、1994年に世界遺産に登録。1994年に世界遺産に登録。一般公開されている民家などを見学でき、時が止まったような町で、古き良きトルコの暮らしを体験することができます。

トルコ料理

世界三大料理の
美味を堪能しよう。

イスラム圏の代表として、世界三大料理に上げられるトルコ料理。なかでもケバブなどの肉料理は有名です。国民のほとんどがイスラム教徒で、宗教的な戒律により豚肉を食べることがなく、仔羊肉や鶏肉などを使った料理が豊富。トマトやナス、豆などを使った煮込み料理も多く、日本人の口にも合います。



キョフテ
香ばしく、ジューシーなトルコ風ハンバーグ。



ケバブ
回しながら焼き、薄く切り薄として食べるドネルケバブ。串に刺さったシシケバブ、ピリ辛でソーセージ状のアダナケバブなど。

PRESENT 8
大韓航空の「A380 フライトドール」を5名様様に!
詳しくはP20をご覧ください。

このツアーにご参加の方全員に、
トルコ民族衣装試着券付の
リトルワールド入場券をプレゼント!!
※トルコ民族衣装試着券は、3/16から利用できます。



名鉄観光

※ツアーで紹介した内容・価格は4月28日現在のもので、今後変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

写真提供/トルコ共和国大使館・文化広報事務所

リトルワールド×Wind×名鉄観光 4つの世界遺産を巡るトルコ 7日間

■出発日/4月5日～9月27日の毎週金曜
■旅行代金/189,800円～289,800円
(おとな一人様2名1室1料金)

■利用航空会社/大韓航空
■利用ホテル/アナトリアン・ケープホテル、シンジハン、フウホテル、
グラントバザール、または各都市同乗クラス

- 1日目 中部国際空港(9:25発)→ソウル(乗り継ぎ)→イスタンブール→アタテュク国際空港(19:40着)→ホテル(泊) 夕食
- 2日目 ホテル→陣跡にてサフランボルへ→回廊ファンボルク(カマカムル・エグイ、アトルルクの丘、チャルシエ城など)→ホテル(泊) 夕食
- 3日目 ホテル→陣跡にてアサナス→最南トラス湖→キャパドキア/カパドキア→ホテル(泊) 夕食
- 4日目 ホテル→回廊/カパドキア/野原/カパドキア→ギョレメ野外博物館、鳩の谷、セルヴェ、カママル地下都市、ローズ/ルーニャー→ホテル(泊) 朝食
- 5日目 ホテル→陣跡にてカッパドキア/回廊/カッパドキア→陣跡/カッパドキア/回廊にてイスタンブールへ→カッパドキア試着(夕食)→ホテル(泊) 朝食
- 6日目 ホテル→回廊/イスタンブール歴史地区観光(トプカプ宮殿、アヤソフィア博物館、ブルーモスク、グラントバザールなど)→アタテュク国際空港(21:20発)→無休
- 7日目 ソウル乗り継ぎ→中部国際空港(20:50着) 朝食

※旅行代金/189,800円(11泊7日)は、中部国際空港発着料、および海外送金手数料が別添付となります。最少旅行人数5名、成金は同行1名以上が、出発前までお支払いください。詳しい条件を後述の「お申し込み」をご覧ください。

■ご予約/お問合せ/名鉄観光サービス 名古屋メディア海外旅行 ☎052-563-1959 名鉄百貨店旅行サロン ☎052-565-1891
名鉄地下支店 ☎052-565-1748 豊丘支店 ☎052-775-7351

■詳しくはホームページ(<http://www.mwt.co.jp/>)、または専用パンフレットをご覧ください。

※旅行代金/189,800円(11泊7日)は、中部国際空港発着料、および海外送金手数料が別添付となります。最少旅行人数5名、成金は同行1名以上が、出発前までお支払いください。詳しい条件を後述の「お申し込み」をご覧ください。

※ツアーで紹介した内容・価格は4月28日現在のもので、今後変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。